

## 第七十四回句会 俳句

### 【高点句】

- ☆汗残る顔に無念のインタビュー 〈莫院〉
- ☆背比べせし日の遠く立葵 〈美保〉
- ☆金銀のメダルに沸いて夜半の夏 〈一馬〉
- ☆鉄道の型を当て合う夏帽子 〈郁代〉
- ☆台車押す制服汗に濡れたまま 〈安津子〉

### 【各自一句】

- ・八百年泰衡のはす舞い降りぬ 〈哲雄〉
- ・夏休苦闘の合同と相似 〈莫院〉
- ・朝食の会話消さるる蟬時雨 〈眞澄〉
- ・夏休お化け屋敷は女子ばかり 〈明美〉
- ・夏山に竹を取りたる若き日々 〈徳人〉
- ・技競い東京五輪汗光る 〈撫子〉
- ・汗拭きて深呼吸して献血車 〈安津子〉
- ・一歳の孫の甚平星の柄 〈郁代〉
- ・夏休み無人の実家に火を灯し 〈青蛙〉
- ・夏休み仕舞ひしままのおもちや箱 〈美保〉
- ・立葵ト音記号の並ぶべく 〈緑〉
- ・片蔭を選びてマスク一列に 〈伸子〉
- ・メダリスト汗と涙にもらい泣き 〈隆司〉
- ・颯爽と追越していく白日傘 〈一馬〉

\*以上、42句（3句ずつ13名と2句が1名、1句が1名）より、選句は16名により4句ずつ

\*高点句は、高得点の句より3句（今回は第3位が同点で3句）

\*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に偶然記載された順に掲載／1名は掲載辞退）